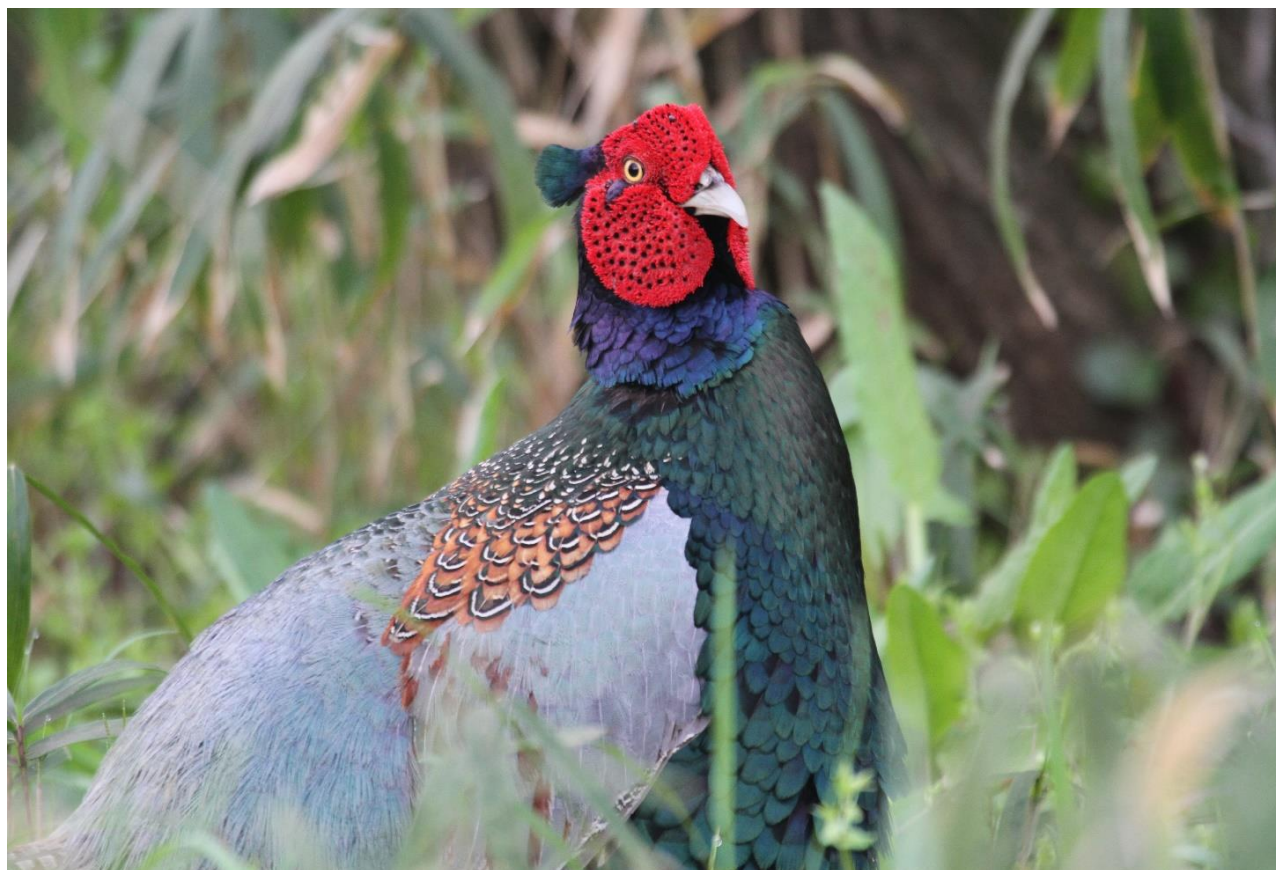


よしまい

2024年 秋号



目次

公園の風景

- ・ド派手なのがお好き? . . . 1
- ・何してるの〜? 1
- ・クララと呼んで♪ 1
- ・クサギ 1

展望棟から ④ 2

みんなのひろば

- ・公園の素晴らしい魅力に引かれ . . 2

活動紹介

- ・「夏休み中の学童保育に通っている
子どもたち特別な一日を」 3
- ・ふれあいまつり♪ 3
- ・ボランティア説明会 3

どうよ？俺ってイケてるだろー！

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kirara@gmail.com

HP ashinokai.html.xdomain.jp

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



公園の風景

= ド派手なのがお好き？ =

キジの声を聞くことはよくありますが、姿はなかなか見られません。でもこの間、公園でばったり出会ってしまったのです！急いで写真を撮りました。

キジのオスってなんであんなにド派手なのでしょう？どうやらメスが派手好きらしいのです。美しいオスはメスにもてます。その遺伝子が自分の息子にも受け継がれると、息子も美しくなってモテるはず。そうすればお母さんの遺伝子も子孫に受け継がれていく。メスはそれを期待して美しいオスを選びたい。それを繰り返しているうちにとっても美しいオスになったという訳です。でもこれは仮説みたいで、他にもいろいろな要因があったのでしょうか。キジは日本の国鳥ですが狩猟の対象にもなっているのは、それだけ身近な存在だということでしょうか。



顔を真っ赤にしてアピール



メスもかわいい

= 何してるの～？ =

ある日公園でアオサギが写真のような変なポーズをして立っているのを見かけました。これは日光浴で、羽の裏側を乾かしながら日光消毒をしているところだそうです。せっかくリラックスしているところに近づいてしまい、お邪魔してごめんね～！よく見かけるアオサギですが観察していると楽しいですよ！

公園を歩くといろいろな鳥や生き物に出会えます。皆さんも是非！



= クラウと呼んで♪ =



公園では、世界に 6000 羽ほどしかいないクロツラヘラサギのことや、その飛来地である山口湾の環境保全にも広く関心を持ってもらおうと、いろいろな活動をしています。多摩動物公園から預かり、園内で飼育している雌のクロツラヘラサギの名前を募集したところ、100 件以上の応募があり、「クラウ」に決まりました。8 月 10 日にビジターセンターで命名式があり、「呼びやすくてステキな名前をいただいた」と園長も喜んでいきます。保護リハビリケージにいつもひとりぼっちでいる、ちょっと寂し気なクラウにそっと呼びかけてみてください。

= クサギ =



シソ科の落葉小高木で、葉がドクダミに似た特有の臭いを持つため「臭木/くさぎ」と呼ばれるようになったという。木ではあるが木質は柔らかく、クズの蔓に絡まれて立ち枯れすることもあるが、根は朽ちることなく再生し、落ちた種からまた容易に芽を出し成長する。このため、このあたりでは嫌われるが、地域によっては若葉を摘み乾燥させて食用としたり、フランス・パリでは街路樹に使われていたり、価値観も様々のようだ。この時期、公園の山口湾に面した緑地帯で繊細な花を咲かせているが香りは爽やかで甘く、ミツバチも蜜を求めて訪れる。晩秋には藍色の鮮やかな実をつけ、絹を美しい水色に染める染料となる。



展望棟から ④

周防大橋の向こうに連なる山は、登山愛好家に親しまれている火ノ山連峰、別名、陶ヶ岳(スエガタケ)連峰です。

右から、亀山(300m)、遠下山(270m)、梅ノ木山(282m)、火ノ山(304m)、陶ヶ岳(234m)へと続きます。縦走する人も多い人気の山々ですが、陶ヶ岳は山口県で初めてロッククライミングが行われ、消防や自衛隊の訓練でも使用されている岩場もあるそうです。観察ホールの正面に広がる干潟の向こうに見える美しい連山です。



観察展望棟

東西南北、ぐると見渡せます



観察ホールからも

みんなのひろば😊

「きらら浜自然観察公園」の素晴らしい魅力に惹かれ」

僕は昨年9月から仕事で山口県に赴任しています。新山口駅近隣のビジネスホテルを生活拠点にし、週末は三重県に戻る日々です。こちらに来て間もなく、「きらら浜自然観察公園」のボランティアの方から、ボランティアグループの機関紙「よしきり」をいただきました。そして公園と野鳥の魅力を教わり、それ以来毎月のように公園にお邪魔するようになりました。普段は仕事に追われていますが、園内の野鳥をのんびり見ていると心が癒され、自然に接する素晴らしさに感動しています。

一番驚いたのがカモの種類の多さです。最初は何か色違いの鳥がいっぱいいて、みんなカモなのかどうかもわかりませんでした。遊歩道にあるカモの看板の写真を撮って池にいるカモと照らし合わせて楽しみました。今では三重県に戻ると近くの河川や田植え時期に飛来する色々な野鳥を観るのが一番の楽しみになっています。

僕の一押しの野鳥を2種、ご紹介したいと思います。1つ目は野鳥の本でも調べましたが、中部地方などによくいる「ケリ」です。水田にいっぱいいて、いつも凛々しく直立不動って感じの、目の赤い可愛い野鳥です。2つ目が、ダイサギやコサギ、70羽くらいの中に混ざって2羽だけいた、体の一部がベージュ色をした「アマサギ」。見ているだけで癒される、最高に可愛いサギです。

きらら浜自然観察公園でも三重でも、季節ごとに見られる色々な野鳥を観て、これからも楽しみたいと思います。

(T. Nakata)



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

活動紹介

＝「夏休み中の学童保育に通っている子ども達に

特別な1日を」＝



7月から8月にかけて、周辺地域の学童保育施設8か所より計200名程の小学生を招き、8回にわたり行われました。猛暑の中、園内の汽水池で竹竿釣りを楽しみ、屋内ではフォトスタンド作りをしました。子ども達に自然を楽しんでもらうこの企画は、積水ハウス(株)さんの上記タイトルのマッチングプログラムに、公園が応募し採用されたものです。公園への送迎もマイクロバスで行われ、葦の会も子供たちのサポートに当たりました。ロングプログラムでは園内での魚釣り、その後お弁当付きで積水さんの山口工場へ。子供たちは震度体験をしたり、広いモデルルーム内を走りまわったりと大はしゃぎでした。ショートプログラムでは魚釣りと工作を。葦の会は大量カレー作りに奮闘、毎回大鍋で30人分のカレーを作りランチを提供しました。葦の会の手作りカレーは大人気で、おかわりする子も続出でした。来年も継続が期待される行事になりそうです。



<俳句教室 最多選句>

＝ ふれあいまつり♪ ＝

葦の会主催の秋の「ふれあいまつり」は10月27日(日)9時からの開催です。焼き芋、餅つき体験等々楽しい出し物いっぱいです。先着50名様へのぜんざいの無料サービスもお楽しみに。ご来園お待ちしております。

＝ ボランティア説明会 ＝

9月23日(月・祝)13時～16時、葦の会のボランティア説明会(秋の部)があります。きらら浜自然観察公園で、自然に触れながら何か活動してみたいと思われる人、是非ご参加下さい。仲間が増えるのを楽しみにしています! 皆さんもご友人やお知り合いにお声がけください。



・ 蝉声や雨のあがれる梢より

貞代

・ 坑道の冥き奥より秋の声

孝久

7月

8月

<編集後記>

今年の夏は異例の暑さでしたね(去年もそう言っていたような)。もう9月ですが、まだまだ残暑が厳しくてバテバテです。暑すぎて大好きなバードウォッチングにも全然行けていません。早く涼しい秋になってくれないかなあ。待ち遠しいな!

(RunRun)